

# 唐土割蒙圖彙

人事  
六

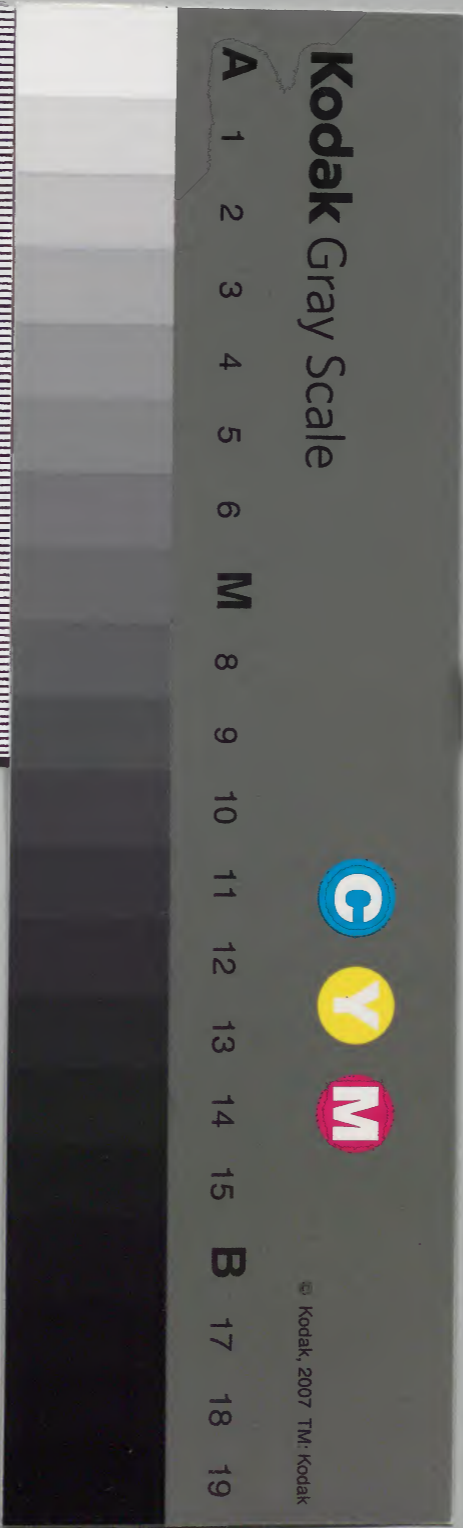
三五六二

| 內閣文庫 |      |   |  |
|------|------|---|--|
| 一四函  | 一一   | 和 |  |
| 二三架  | 一三四號 | 書 |  |
|      | 一五冊  | 類 |  |

| 太政官文庫 |     |   |  |
|-------|-----|---|--|
|       | 一二  | 和 |  |
| 一五冊   | 二七函 | 書 |  |
|       | 三四號 | 門 |  |

| 內閣文庫 |     |       |
|------|-----|-------|
| 番號   | 和   | 11134 |
| 冊數   | 15  | (7)   |
| 函號   | 184 | 360   |

典故



法<sub>り</sub>總<sub>る</sub>射<sub>は</sub>歩<sub>か</sub>



肘<sub>ひら</sub>壓<sub>おし</sub>在<sub>に</sub>下<sub>に</sub>  
腕<sub>うで</sub>仰<sub>あが</sub>在<sub>に</sub>下<sub>に</sub>

目<sub>め</sub>視<sub>し</sub>上<sub>に</sub>  
上<sub>うへ</sub>梢<sub>さへ</sub>指<sub>さ</sub>的<sub>てき</sub>  
下<sub>した</sub>梢<sub>さへ</sub>抵<sub>た</sub>腕<sub>うで</sub>

人事

此<sub>こ</sub>部<sub>ぶ</sub>ハ<sub>ハ</sub>武<sub>ぶ</sub>藝<sub>ぎ</sub>ト<sub>ト</sub>り<sub>り</sub>て<sub>て</sub>農<sub>のう</sub>家<sub>か</sub>の<sub>の</sub>樂<sub>らく</sub>ト<sub>ト</sub>り<sub>り</sub>  
鬼<sub>おに</sub>圃<sub>ぼ</sub>草<sub>そう</sub>白<sub>はく</sub>戯<sub>ぎ</sub>の<sub>の</sub>わ<sub>わ</sub>ら<sub>ら</sub>ひ<sub>ひ</sub>ま<sub>ま</sub>で<sub>で</sub>み<sub>み</sub>ら<sub>ら</sub>く  
の<sub>の</sub>を<sub>を</sub>て<sub>て</sub>乃<sub>の</sub>こ<sub>こ</sub>ら<sub>ら</sub>ふ<sub>ふ</sub>ま<sub>ま</sub>な<sub>な</sub>い<sub>い</sub>

唐<sub>から</sub>土<sub>つち</sub>訓<sub>くん</sub>家<sub>け</sub>圖<sub>ず</sub>彙<sub>い</sub>卷<sub>くわん</sub>之<sub>の</sub>六<sub>ろく</sub>

名<sub>な</sub>の<sub>の</sub>下<sub>した</sub>に  
和<sub>わ</sub>名<sub>な</sub>と<sub>と</sub>附<sub>つ</sub>

明治  
東京



馬並削圖

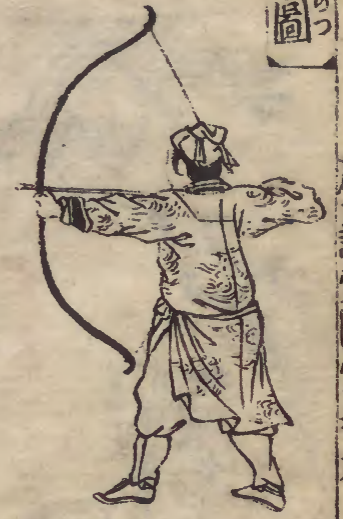
馬上して射るとなり



同上

實握射圖

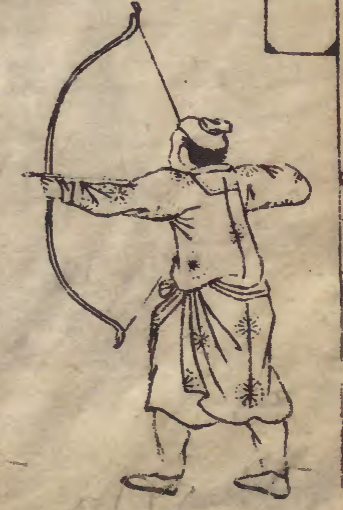
射法圖



此法ハ弓と一こいは引えてたる乃  
 肱と直りて弦月のあつくみ  
 うとなくめいふとく月れらるの  
 とく乳の通るよいさるるにこ

掌心推射圖

同上



此法ハ弓と引えて肱のまがり  
 心と射る射の平うなりと衡る  
 おとくにいてらハ八分の機か  
 するるとなり



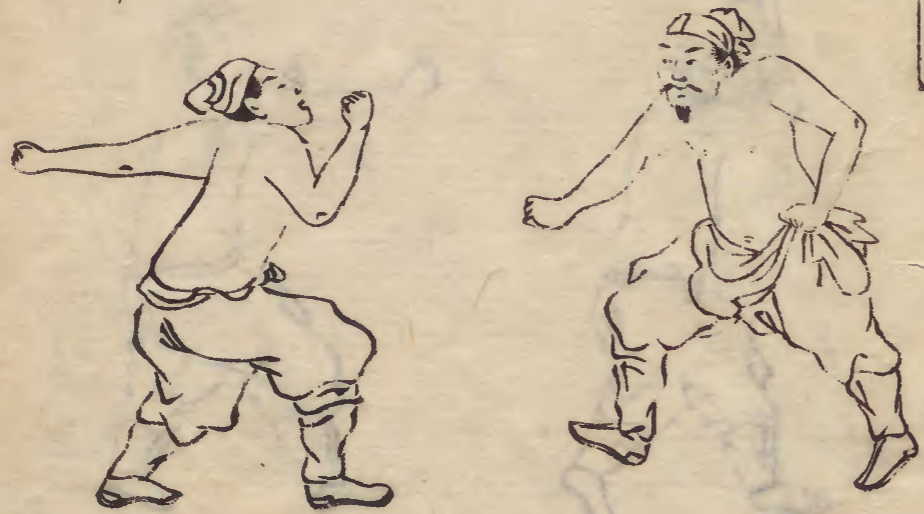
拳法四



拳法五



拳法六



拳法七



拳法



禮部家圖書卷六

拳法  
十



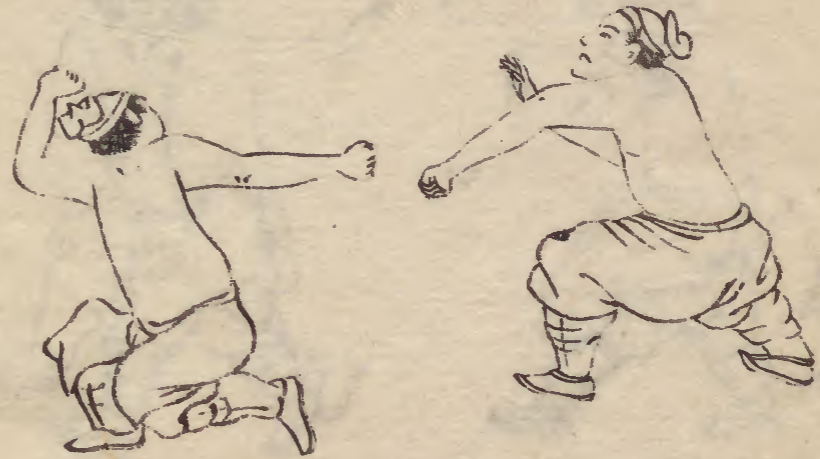
拳法  
九



拳法  
十一



拳法二十



拳法三十



拳法四十



拳法五十



唐六朝武備圖卷之六

唐六朝武備圖卷之六

勢ハ伏ハ埋ハ面ハ十



勢ハ服ハ賓ハ夷ハ四



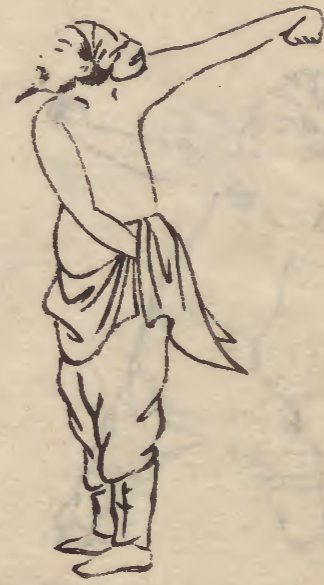
勢ハ爪ハ獻ハ龍ハ青



勢ハ針ハ南ハ久ハ指



拳ハ法ハ六ハ



勢ハ海ハ探ハ火ハ夜



鎗ハ法ハ圖

和ハ二ハ儀ハとハつハとハしハとハしハとハし



勢 水 滴



勢 天 朝



勢 劍 跨



勢 欄 邊



勢 龍 騎



勢 地 耕 牛 鐵



勢 錦 地 鋪



勢 字 旗 鐵



唐 地 訓 義 圖 卷 六

勢門鴻闖



勢針認人美



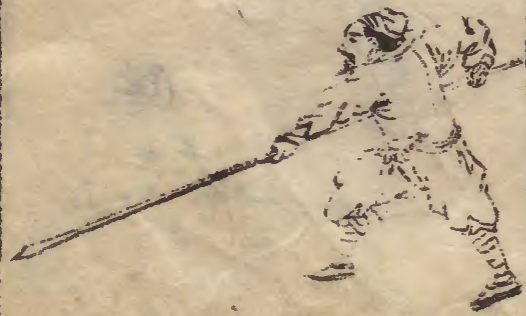
勢鼠捉猫靈



勢刀拖猿白



勢長虎伏



勢尾擺龍蒼



勢卵壓山太



勢琶琵琶



唐三才圖會卷六

唐三才圖會卷六

勢い路ろ指さ人に仙せん



勢い牌はい滾ころ



勢い衣い孔く開かい



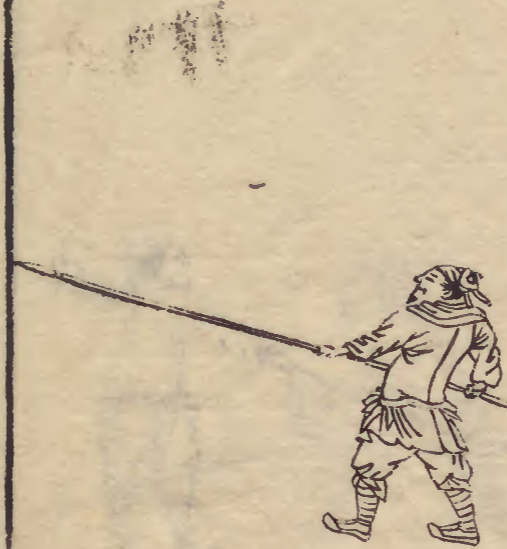
勢い行ぎょう針はり



習しゆ藤とう牌はい圖ず

牌はいハタテナリハタテナリ取と術じゆつの類るい

勢い魚ぎよ釣つり公こう太たい



勢い海かい塞さい山さん推おし



勢い鼓こ鶴つる撲ぶく子こ鷗う



それ鑿くわうハ中華ちゆうかの昔むかし義裁ぎさい農のう千せんノ  
戈がと造つくり軒けん輶ぎ槍やりと作つくリ諸葛しよこくわ  
孔明けいめい始はじめて木きと以もつて槍やりと作つくリ鉄てつ  
を以もつて頭かぶと以もつて其その長なが二丈にじやう或ある竹たけと  
以もつて作つくる長なが二丈にじやう五尺ごせき蓋あし是こゝ日本にっぽん  
の鑿くわうと相あ似にしり日本にっぽんの鑿くわうの字あざな  
倭わ國くにの制せいすり處ところよりして鑿くわうと術じゆつと  
同おなしくすりしのかゝり

勢平中



勢龍騎



羽日狼笥圖

竹の枝このまねと疾よてりて  
ふやく 吳かたりそのやりの術なり

勢頭野雞金



勢伏之埋



勢歩躍



勢平低



勢下、開



勢退、歩、拗



勢開、釣



勢上、架



圖の勢の盤の棒の人の僂の



圖の勢の吊の大の



圖の勢の當の大の



圖の勢の當の小の



棍の法の圖の

和の語の人の棒のとのつのりのとのこの

和語人棒とつりこ

圖 勢 頭 回 馮 走



圖 勢 水 滴



圖 勢 書 送 符 戲



圖 勢 殺 眉 齋



圖ノ勢ハ腰ヲ閃ク



圖ノ勢ハ頭ヲ倒シ



圖ノ勢ハ穿ク下



圖ノ勢ハ刺ク上







撃手壞圖 此れ村氏野老のたつた  
 その具ハ木と以てけらる前廣く後  
 鋭長を八四寸濶三寸其形復れ  
 如し哉やんとすりゆ先一の壞と選の  
 三四丁歩は側て手中の壞と以て  
 うらなげてあはる者とすりとて

塙鼓圖 塙といハ田の草とすらうとて  
 その時笑語して務と妨んくと防  
 ぶらけうけ鼓をり

下接の勢圖



三の勢圖



唐土御家圖卷六

十五



角瓶圖

和角瓶の教てらふ



闘牛圖

闘牛の合

傀儡圖

あんなり  
よらん  
おらん  
うらん  
おらん  
おらん

高組圖

あんなり  
よらん  
おらん  
うらん  
おらん  
おらん



闘草圖

百の草  
とよんで  
まわらば  
勝負と  
わたり  
し

闘雞圖

とけ合  
せて  
周の  
三月  
の  
あつ  
ま



彈圖

和  
の  
し  
や  
の  
し  
ゆ

蹴鞠圖

和  
の  
し  
や  
の  
し  
ゆ



呑劍圖

今のよ  
こころ  
わんら  
の  
数  
なり

弄一甌圖

今のよ  
玉とり  
の  
新

唐土宮家區清卷六

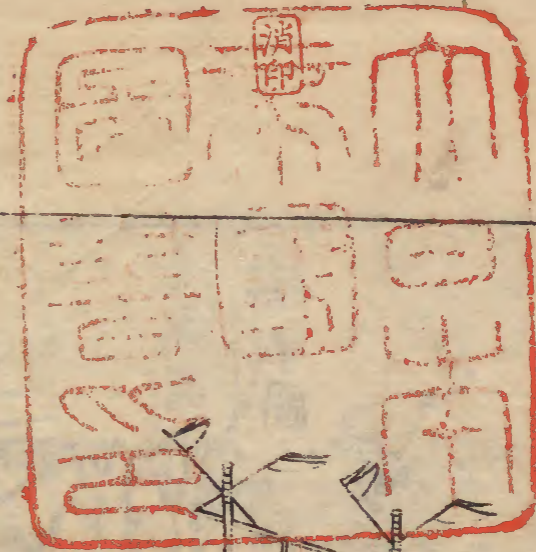


走火圖

縁草圖

今のよ  
し  
ま  
い  
の  
数  
なり





鞆籠圖

北方我狹寒食の帝に至ていふらんときん鞆籠をおかしたるなり  
ぬ中ふこれよふらうく備をふにりていさのかせくめをいふなり



